

学年	1 学年	実施期間	6 月 1 5 日 (月) ~ 6 月 1 9 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	国語総合	漢字	○文章を読んだり、書いたりするために必要な漢字の知識を身につける。	○「入試頻出漢字TOP2500」P32～P41の漢字を正確に書けるようにする。 ○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める。	○授業再開時に確認小テストを行い「知識・理解」を評価する。 ※ グーグルクラスルームに確認テスト（解答付き）を掲載する予定です。自己採点等をして知識を確かなものにしてください。 【評価規準】 ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。（知識・理解）
地理歴史	世界史A				
	日本史A	○近代国家と社会の形成 ・国境の画定 ・明治政府の諸改革 振り返り学習	○明治維新後の国境画定や諸改革が「どのような理由により行われたのか」「これらの改革によって人びとの暮らしがどのように変わったのか」ということを考察する。 ○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。	○これまでの課題学習の成果を振り返り、日本の領域確定や新政府による諸改革がなぜ必要と考えられるようになったのかということを考察する。 ○すでに配布してある「まとめプリント」を利用して、歴史用語の知識を確かなものにする。 ◎G Suiteの家庭学習と振り返り学習で浮かんだ疑問点等を G Suite のストリーム上でみんなに発信する。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。（関心・意欲・態度） ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。（思考・判断・表現）（資料活用の技能） ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。（知識・理解）
数学	数学 I	数と式	基礎的な知識及び技能の習得 ・式の展開と因数分解の関係を理解する ・たすき掛け等を活用して、様々な式の因数分解ができる	教科書及び、問題集（STAGE）の与えられた問	○式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとしている。（関心・意欲・態度） ○式を目的に応じて工夫し、展開や因数分解を見通しをもって行うことができる。（見方・考え方） ○式を目的に応じて変形したり、置き換えたりして式の展開や因数分解ができる。（技能） ○整式についていろいろな用語や展開、因数分解の性質を理解している。（知識・理解）
	数学A	集合と場合の数	基礎的な知識及び技能の習得 ・順列の考えを利用して、円順列や重複順列について理解する ・順列と組合せの違いについて、理解する	教科書及び、問題集（STAGE）の与えられた問	○円順列や重複順列について、考察することができる。（見方・考え方） ○組合せの公式を用いて、さまざまな問題を解くことができる。（技能） ○組合せの用語の意味と、それらの公式を理解している。（知識・理解）
	物理基礎	平均の速さと瞬間の速さ	平均の速さ、瞬間の速さの違いを理解し、実際のグラフで活用する。	・前回までの課題が終わっていない人は速やかに取り組むこと。 ・前週までの課題が終わった者は、授業初回は教科書P8「速さ」から進めるので確認しておくこと。	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）

理科	化学基礎	○物質の構成粒子・物質と元素	○物質の種類と性質について、元素を含めた形で内容について理解する。	○5月までの課題が終わっていない場合、速やかに取り組むように。(詳細は先々週までの一覧参照。先週は物理基礎の内容の一部が記載されていました。申し訳ございません。) ○課題が終わった者は授業初回は教科書P14～「純物質と混合物」からスタートするので確認しておく。既に授業が始まったクラスは担当の先生の指示に従うように。	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	体育	スポーツをめぐる現状や今後の課題について	スポーツをめぐる現状と今後の課題について、コロナの影響による問題や近年話題となっている事柄を取り上げ、それについての自分の考えをまとめる。(先週から継続)	【先週の課題を継続して取り組む】 (大会中止について、または、eスポーツについてのレポート)	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価基準】 ・スポーツの現状や課題について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの現状や課題について、書き出すことができる。(知識・理解)
保健	1 単元 現代社会と健康	3、健康と意志決定・行動選択 4、健康に関する環境づくり	健康に対する考え方について、理解する 健康に関する影響について、理解する。	教科書P.8～P.11を読み、内容を理解する。 ノートの課題内容の振り返り。	提出：6月29日以降提出
	音楽Ⅰ	リズムの特徴を感じ取り、表現を工夫しよう！(ボディーパーカッション)	リズムの変化や反復、重なり方の面白さを味わい、表現を工夫して演奏しよう。	「Plymouth Rock」(教科書p.10)を週2回自宅で練習して、成長カードを記入する。 音を鳴らすこととリズムをしっかりと覚えることを極めましょう。余裕のある人は強弱の差がつくように音の鳴らし方を工夫してみましょう。 【第2週(6月8日～6月19日)の範囲について】 Eから最後まで(17小節から32小節まで)19日(金)にクラスルームで取り組み状況を確認します。 クラスルームにパート別動画が載っています。必ず確認しましょう。 【成長カードについて】 成長カードの記録を忘れずに！(評価対象プリントです) 成長カードは初回授業で回収します。	音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、表現を工夫している。(音楽表現の創意工夫)
芸術					

	美術 I	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	レポート最後の課題です。(必修) NHK Eテレ (NHK教育TV)で放送されている5分番組「no art, no life」(水曜22:45~:50、または金曜11:50~:55)を視聴して、これまでのレポート作成で鑑賞した美術番組を思い出しながら、「美術(芸術)ってなんだろう?」というテーマで、自由に自身の考えることを記述してください。レポート用紙(A4またはA5)使用、枚数自由。提出期限7月22日(金)、授業時に提出で可。*この番組は1番組に限らず、複数回視聴することをお勧めします。ネット上の見逃し配信でも視聴できます。/課題とは関係ありませんが、デザインに興味がある人は同じくNHK Eテレの「デザインミュージアムをデザインする」という番組配信もチェックしてみてください。	提出されたものについては評価の材料にします。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学び取ろうとしている。 ・鑑賞を通じて、美術という分野への理解や考察を主体的にすすめていこうとしている。(美術への関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形の美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている(鑑賞の能力) ※「鑑賞」の分野は、評価の4割を占めます。
外国語	コミュニケーション英語 I	*今までの課題を引き続き行ってください。 *配布した英語課題提出一覧・課題提出するときの注意をよく読んで提出できる状態にしておくこと。			
	英語表現 I	BIG DIPPER:Lesson6 Pasttime	○未来形の基本的な文法事項を理解したうえで問題演習の復習を行い、簡単な英語を使って身の回りの出来事を英語で表現できるようにする。	○前回の課題: BIG DIPPER p.18の英語例文とその和訳、p.19の解いた問題をPDFファイルを参照しながら丸付けをする。くわしい解説は参考書ラーナーズ高校英語の第3章「未来表現」p.68~70に載っているので参考にするとよい。 ○Lesson 1~3とReview Exercises①の解答・解説もPDFファイルでアップしました。	○提出された課題の内容を次の評価規準により評価する。 ・参考書(ラーナーズ高校英語)等も参照しながら主体的に理解に努め、課題に丁寧に取り組んでいるか。(関心意欲態度) ・授業開始後の授業や試験で課題への取り組みの成果が見られるか。(表現/知識・理解)
家庭	家庭基礎				
総合的な探究の時間					